

補聴器 HA-43H

取扱説明書

HA-43Hは障害者総合支援法購入基準該当品です。

- 補聴器をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みいただいたあとも大切に保管してください。

使用電池は単4形アルカリ乾電池LR03、または、単4形ニッケル水素電池HR03です。



製造販売元



本社・営業部
〒185-8533
東京都国分寺市東元町3-20-41

リオネット補聴器お客様コールセンター
フリーダイヤル 0120-2933-76
受付時間 9:00~21:00

医療機器認証番号：
305AABZX00046A01
認証番号は本体と外箱に表示してあります。
販売名：補聴器 HA-43H

補聴器や電池は飲み込むと危険です。
かゆみやかぶれに注意する。

体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じたときは、ご使用をおやめいただき耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

耳せんやジョイントを正しく取り付ける。

耳せんやジョイントが正しく取り付けられていない場合、耳せんやジョイントが外れて、耳の中に残ることがあります。耳せんやジョイントが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

ネックストラップを首から下げた場合、何かに引っかからないように注意する。

思わぬケガの原因となることがあります。

お断り
この補聴器は、出力レベルをおさえて出荷しております。調整はお買い求めのお店に依頼してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすることで生じることが想定される内容を「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示の例
図の中に具体的な禁止内容が表記されることがあります。

	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。
--	--

	禁止内容		指示内容
--	------	--	------

注意

MRI検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まない。

MRI検査のために補聴器の金属部が熱くなって火傷をするおそれがあります。また、磁気により本製品がMRI装置に吸着され、怪我をしたり、補聴器が故障する可能性があります。



大きな音で聞き続けられない。

大きな音で聞き続けると、さらに聞こえを悪くすることがあります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると、聞こえを悪くすることがあります。

他人に補聴器を貸さない。

耳を傷めることがあります。

補聴器を装着する耳に注意する。

左右を間違えると耳を傷めることがあります。

イヤモールドの左右に注意する。

間違えて無理に耳に挿入すると耳を傷めることがあります。

幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに補聴器や電池を保管する。

補聴器や電池は飲み込むと危険です。

かゆみやかぶれに注意する。

体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じたときは、ご使用をおやめいただき耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

耳せんやジョイントを正しく取り付ける。

耳せんやジョイントが正しく取り付けられていない場合、耳せんやジョイントが外れて、耳の中に残ることがあります。耳せんやジョイントが耳の中に残ってしまった場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

ネックストラップを首から下げた場合、何かに引っかからないように注意する。

思わぬケガの原因となることがあります。

使い方

<お使いになる前に>

- 補聴器は、お客様の聞こえを元に戻すものではありません。聞こえを補う医療機器です。大きすぎる音で聞いたり、耳に合わない使い方をしたりすると、耳を傷める原因になります。

- 補聴器を使うときは、必ず聞こえの程度を病院やお買い求めのお店で調べてもらってください。補聴器の調整は聞こえの程度に合わせて、耳鼻咽喉科医師またはお買い求めのお店で調整してもらいましょう。

- 使い始めは音量を小さめにし、慣れるに従って少しずつ音量を加減してお使いください。

- 他人がこの補聴器を使うと、耳を傷める場合や感染する場合があります。

- 耳の治療をされている方、治療したことのある方は、耳鼻咽喉科医師にご相談の上お使いください。

- 子供の場合は、難聴の度合を調べにくいので、必ず耳鼻咽喉科医師の指導を受けてからお使いください。

- 快適にお使いいただくために、お使いになる前には、耳を清潔にしてください。

- 補聴器の外観の点検を行ってから装着してください。ひび、キズが入ったイヤモールドや耳せんは使用せず、お買い求めのお店で修理を行ってください

- 万一、装着中にイヤモールドや耳せんが破損した場合は、無理して取り出さずに耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

<使用の中止>

以下のような症状が現れたときは、補聴器の使用を中止し、すぐに医師またはお買い求めのお店にご相談ください。

- 補聴器が皮膚に接する部分がかぶれたり湿疹ができたりしたとき。この補聴器の皮膚に接する部分には、炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によってはまれにかぶれや湿疹を生じることがあります。

- 使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったりしたとき。

- 以前に比べ、急に耳の聞こえが悪くなったと思われるとき。

- めまいや頭痛が生じるとき。

- 耳の中に痛みが生じるとき。

<取り扱い・保管>

- 補聴器は落とすと故障するおそれがあります。

- 補聴器装着時にヘアスプレーや香水など、気化する物のご使用はおやめください。補聴器の故障の原因となる場合があります。

- 内部は特に精巧にできています。針、ピン、ペン先、楊枝、爪の先などで、つついたり、差し込んだりしないでください。

- 補聴器は、強い磁気に接触すると、故障することがあります。強い磁気に補聴器を近づけないでください。

- 補聴器は濡れると故障するおそれがあります。取り扱いは必ず乾いた手で行ってください。入浴時、洗顔時は外し、濡れたテーブルの上などに不用意に置かないようにしてください。突然の雨や台風の時も注意してください。

- 万一、水の中に落としてしまった場合は、まず乾いた布で補聴器の外側の水分をよく拭き取ります。乾いたタオルなどの上に乗せ、水分が切れるようにしばらく置いて乾燥させます。以上が応急処置ですが、できるだけ早くお買い求めのお店に点検を依頼してください。電子レンジ、食器乾燥機、ドライヤーなどの電気機器で乾燥させるのはおやめください。補聴器が故障します。

- イヤホンコードを本体に強く巻きつけないでください。コードが断線するおそれがあります。

- テーブルの上などに置き忘れると、ペットがじゃれて遊んだり、かじったりして、補聴器を壊すことがあります。ペットのいるご家庭では注意してください。

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります（CTなどX線を使用する診断、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器、放射線による治療など）。医師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。なおMRI検査を行う場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。

- ストーブのそばや直射日光の当たる場所など温度の高い所、浴室、加湿器のそばなど湿気の多い所には置かないでください。また、真夏の車の中なども閉め切っていると高温になり、補聴器が故障することがあります。

- お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自身では絶対に修理しないでください。

- 人数が多くなるほど聞きにくい人の多く集まる会議や集会、講演会

- お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自身では絶対に修理しないでください。

- 雑音が大きいくらい電車の中、食堂、道路、大きな物音のする工場、効果音の大きなテレビドラマ

- スピーカーの声は聞きにくいインターホンの声、電車やバスの車内放送、役所などの呼び出し音

<お手入れについて>

- 補聴器を柔らかい布で乾拭きしてください。
- お手入れにアルコールやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。ひび割れなど、変質のおそれがあります。

<電池について>

- 補聴器や電池は幼児またはその他誤って口に入れてしまいそうな方の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んでしまったときは、健康被害のおそれがありますので直ちに医師にご相談ください。

- 応急処置方法などについては、以下の（公財）日本中毒情報センターにご相談ください（ただし通話料は相談者の負担）。
・つくば中毒110番 TEL.029-852-9999 9:00~21:00 年中無休
・大阪中毒110番 TEL.072-727-2499 24時間 年中無休

- 万一、電池が破損し、電解液に触れたときは、すぐに水で洗い流してください。皮膚を傷めるおそれがあります。

- 長期間補聴器を使用しないときは、電池を取り出してください。

- 予備の電池の保管は高温多湿となる場所を避けてください。温度変化のない涼しい場所に保管してください（冷蔵庫は不可）。

- 電池を金属類に接触させないでください。財布やポケットの中に電池を入れておくときや鍵や硬貨などと接触して、電池が消耗したり破裂したりすることがあります。

- 外出の際は必ず交換用の予備の電池をお持ちください。

<廃棄するときのお願い>

- ご使用済みの補聴器の廃棄方法は、お住いの自治体かお近くの販売店へお問い合わせください。火中へは投入しないでください。

- ご使用済みの電池は、ゼロハンテープで電極を包んで、お住いの自治体の指示に従って捨ててください。

修理に出す前に

- ピーピー音**がする
■耳せん、イヤモールドが耳あなにしっかり入っていますか？
→しっかりと入れ直してください。
- 音が大きすぎませんか？
→ボリュームを調整して音を少し小さくしてください。
- 耳に合わない耳せんを使っていますか？
→耳に合った耳せんをご使用ください。

- 音がよく聞こえない
■音が小さすぎませんか？
→ボリュームを回して音を少し大きくしてください。

- 古い電池を使っていますか？
→新しい電池に取り替えてください。
- 耳せんに耳あかが詰まっていますか？
→本体から取り外し、ぬるま湯などで洗い流してください。

- 音が全く聞こえない
■イヤホンコードが断線していませんか？
→新しいコードと交換してください。
- イヤホンが故障していませんか？
→新しいイヤホンと交換してください。

それでも良くならないときは、お買い求めのお店にご相談ください。

ピーピー音を防ぐには

補聴器の耳せんが耳に合っていないと、ピーピーという不快な音（ハウリング音）がする場合があります。耳せんのサイズや種類、ジョイントの長さをお客様の耳に合うようにすると、このような音が鳴りにくくなります。イヤモールド*を使う方法もあります。お買い求めのお店にご相談ください。

* イヤモールドとは、オーダーメイドの耳せんです。

ハウリング音がするのは、**耳せん**などから大きくなって出てきた音が、再びマイクに入る動作が繰り返されることが原因です。

補聴器に慣れるために

静かな所で対談する。相手の人にはゆっくり話してもらう。

日常生活で一对一の会話をする。

本などを、声を出してゆっくり読み、聞いてみる。

静かなところでテレビの音を聞く。

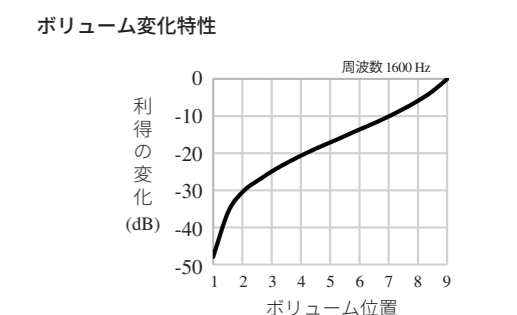
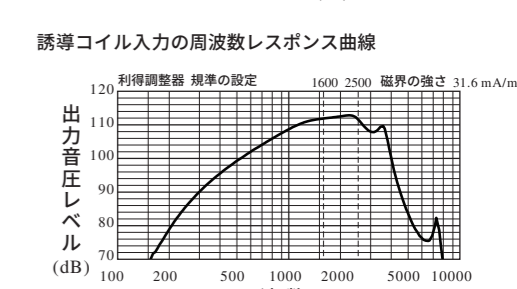
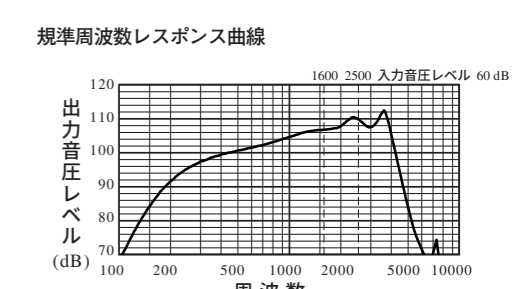
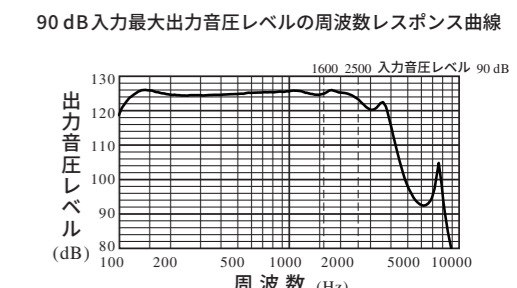
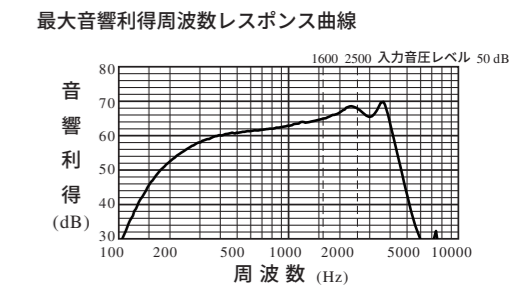
4~5人の会話を聞き、どの人が話しているかに注意し、自分も話の中に入る。

補聴器本体の寸法	65 × 42 × 13.6 mm
補聴器本体の質量	約 29 g
使用電池	単4形アルカリ乾電池LR03

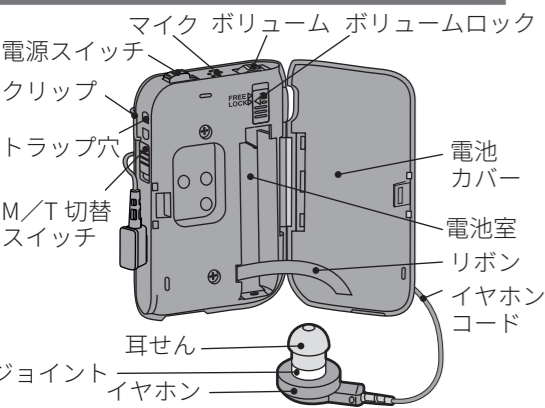
イヤホンコード
JIS C 5512:2015 (2 cm³ カプラで測定) で表示

項目	公称値	【許容差】
最大音響利得	HFA 65 dB ピーク値 69 dB	[±5 dB] [+3 dB 以下]
90 dB 入力最大出力音圧レベル	HFA 124 dB ピーク値 125 dB	[±4 dB] [+3 dB 以下]
等価入力雑音レベル	22 dB	[+3 dB 以下]
全高調波ひずみ	500 Hz	2% [+3% 以下]
	800 Hz	2% [+3% 以下]
	1600 Hz	1% [+3% 以下]
電池の電流	8.6 mA	[+20% 以下]
誘導コイル入力の最大感度レベル	100 dB	[±6 dB]

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーションに記載されています。



各部の名称



電池カバー内には調整器がありますが、各調整器の調整はお買い求めのお店に依頼してください。ご自分では調整しないでください。
補聴器には、型式、製造番号が書いてあります。

付属品

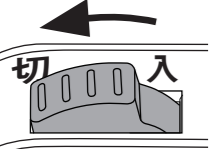
- イヤホン組立(イヤホンコード 85 cm + イヤホン+ジョイント+ソフト耳せんS)
- ソフト耳せん MS
- 取扱説明書
- 保証書
- 単 4 形アルカリ乾電池 LR03
- ネックストラップ

交換可能な別売部品：
イヤホンコード、イヤホン、耳せん、ジョイント、コードクリップ

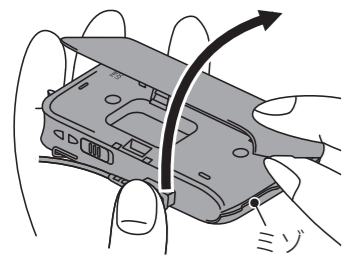
補聴器の使い方

電池の入れ方

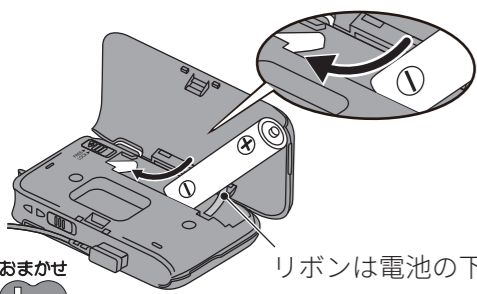
- 1.補聴器の電源スイッチを「切」にします。



- 2.補聴器下部のミゾに親指を入れ、電池カバーを開けます。

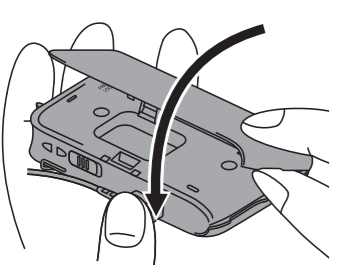


- 3.電池は下図のように入れ、矢印のようにスライドさせて納めます。



おまかせ
この補聴器は電池の+や-の極性を問わずどちらの向きでも動作するおまかせ回路を採用しています。

- 4.カチッという感触があるまで、電池カバーを閉じます。

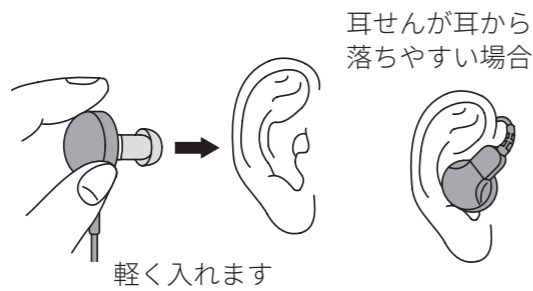


使用方法

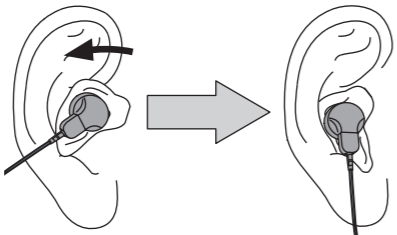
- 1.イヤホンを耳に装着します。

補聴器を装着する耳にご注意ください。左右を間違えると耳を傷めることがあります。

●耳せんの場合

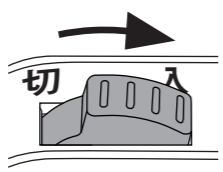


●イヤーマールドの場合



イヤーマールドの左右にご注意ください。間違えて無理に耳に挿入すると耳を傷めることがあります。

- 2.電源スイッチを「入」にします。



- 3.M/T切替スイッチで「M」または「T」を選択します。

M：マイクからの音が聞こえます。
T：誘導コイル*が働き、磁気ループ(ループコイル)や「タイループ」(別売品)からの音だけ聞こえます。マイクからの音は聞こえません。

* 詳しくは、「誘導コイルについて」をご参照ください。

- 4.ポリウムを聞きやすい大きさの音に合わせます。

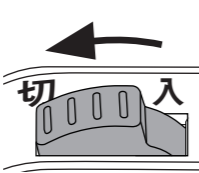
左に回すと音が小さくなります。
右に回すと音が大きくなります。



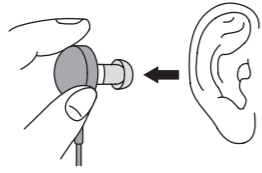
数字が大きくなるに従い、音が大きくなります。

- 5.使用を終了するときは

- ① 電源スイッチを「切」にします。

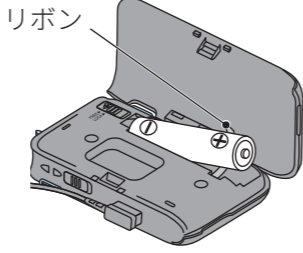


- ② イヤホンを持って、耳からゆっくり外します。このときコードは持たないでください。



電池の取り出し方

- 1.補聴器の電源スイッチを「切」にし、電池カバーを開けます。
- 2.電池を指で押さえ、リボンを静かに引いて電池を取り出してください。

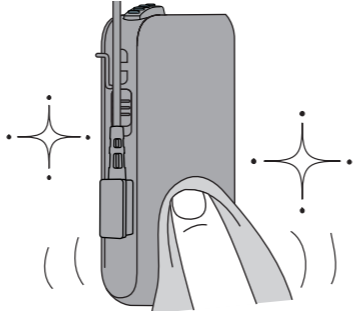


- 3.電池を取り出したら、カチッという感触があるところまで電池カバーを閉じます。

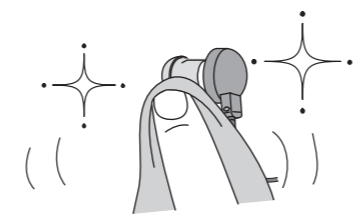
補聴器のお手入れ

補聴器を長くお使いいただくために、ご使用後はよく手入れをしてください。また、耳せんは消耗品です。変色したり、硬くなったりした場合は、新しいものと交換してください。

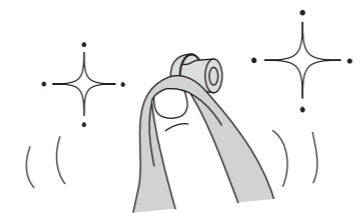
- 1.補聴器本体についた汚れや汗を乾いた布で拭き取ります。



- 2.イヤホン(耳せん、イヤーマールド)についた汚れや水分を乾いた布で拭き取ります。



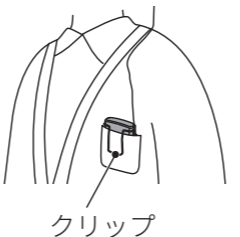
- 3.耳せん、または、イヤーマールドは、ときどき外して、ぬるま湯で洗い、乾いた布で拭き取ります。その後、イヤホン(ジョイント)にしっかりと取り付けます。



イヤーマールドのお手入れは、イヤーマールドの取扱説明書をご参照ください。

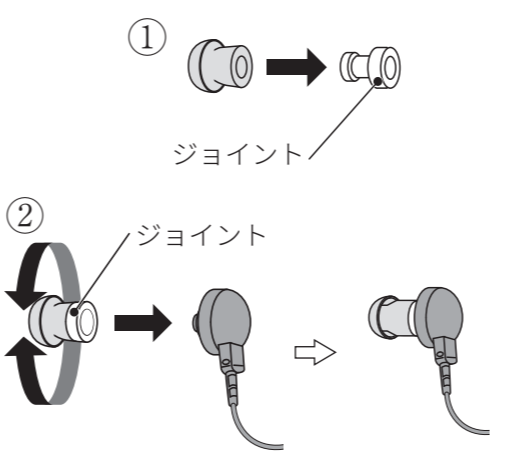
クリップについて

この補聴器には、クリップがついています。クリップは、補聴器をポケットに固定するのに使用します。



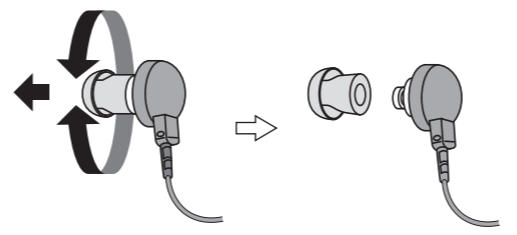
ジョイントが外れたときは

ジョイントが外れたときは、①ジョイントに耳せんを取り付け、②イヤホンを持ち、耳せん(ジョイント付き)を左右にひねりながら、止まるところまで差し込みます。ジョイントが正しく取り付けられていない場合、ジョイントが外れて、耳の中に残るおそれがあります。その場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。



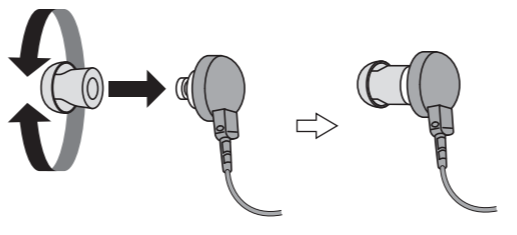
耳せんの取り外し

イヤホンを持ち、耳せんを左右にひねりながら、ゆっくりと取り外します。



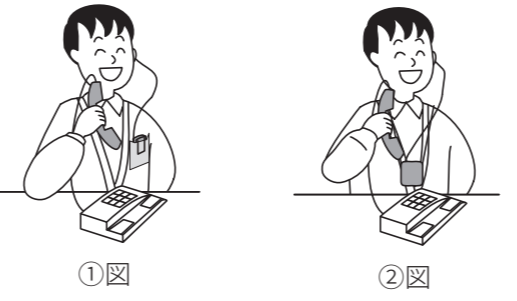
耳せんの取り付け

イヤホンを持ち、耳せんを左右にひねりながら、止まるところまで差し込みます。耳せんが正しく取り付けられていない場合、耳せんが外れて、耳の中に残るおそれがあります。その場合は、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。



電話で話すとき

受話器を、通常とは逆に、スピーカー側を下に、マイク側を上にして、持ちます。補聴器を上着のポケットに入れて、クリップでポケットに取り付けている場合は、①図のように受話器のスピーカー側を、補聴器のマイクに近づけて使用します。ネックストラップを使用している場合も、②図のように受話器のスピーカー側を、補聴器のマイクに近づけて使用します。また、M/T切替スイッチを「T」にすると誘導コイル機能となり、受話器から出る音声を伝える磁波を、誘導コイルでキャッチします。



誘導コイルについて

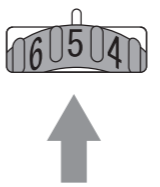
誘導コイルを利用すると、ろう学校、また、公共施設などに設置された「(磁気)ループ席」「補聴器対応席」などで、講演会の演者の声など、目的の音だけを聞くことができます。また、「タイループ」(別売品)を使用して、家庭内でもテレビなどの目的の音だけを聞くこともできます。お買い求めのお店にご相談ください。

- 聴覚支援学級やループ席などでは床下に磁気ループ(ループコイル)が設置されており、講演会の演者の声などに対応した磁波が発生しています。誘導コイルを搭載した補聴器では、その磁波をキャッチして聞くことができます。
- ループ席などが設けられているかは、公共施設や催し物などにより異なります。
- タイループでは上記と同様に、首かけ式のループコイルから磁波が発生します。

誘導コイルをご使用の場合、電磁波が発生する機器(防犯ゲートなど、各種電気製品)の近くや、電気自動車(ハイブリッド自動車)乗車時に、異音を生じることがあります。

ポリウムについて

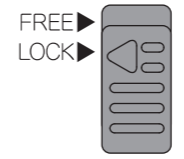
ポリウムセンタークリックは、ポリウムを「5」の位置に合わせやすくすると同時に、その位置から不用意に回りにくくする機能です。ポリウムを「5」の位置に合わせて「カチッ」という感覚があり、ポリウムが回りにくくなります。



ポリウムロック

ポリウムロックは、ポリウムを任意の位置で固定できる機能です。ポリウムロックキーを「LOCK」の位置にするとポリウムを固定することができます。

- FREE：ポリウムを自由に回転させることができます(ただし、ポリウムセンタークリック機能は解除することはできません)
- LOCK：ポリウムが固定されます。

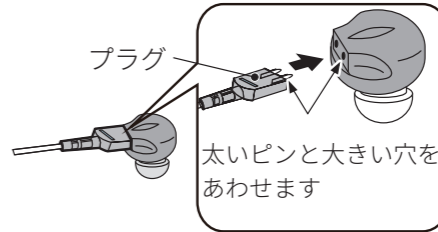


「LOCK」にしたまま、ポリウムを無理に回さないでください。ポリウムやポリウムロック機能の故障の原因になります。

イヤホンコードについて

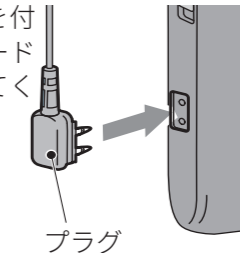
この補聴器には、長さ 85 cm のイヤホンコードがついています。長すぎる場合は、別売で 45 cm と 60 cm のイヤホンコードも用意しています。お買い求めのお店にご相談ください。

- イヤホンコードのプラグのピンもイヤホンの穴も大小2つあります。大きいピンと大きい穴を合わせるようにして、プラグとイヤホンの抜き差しは行ってください。イヤホンからイヤホンコードを抜くときは、必ずイヤホンコードのプラグを持って抜いてください。



プラグのピンをイヤホンに入れるのが難しい場合は、お買い求めのお店にご相談ください。

- 補聴器にプラグを付けるときは、コードの向きに注意してください。



充電電池について

単 4 形アルカリ乾電池の代わりに充電電池の単 4 形ニッケル水素電池(市販品)を使用することができます。充電電池を使用する場合の注意事項・制限事項については、充電電池や充電器に付属している取扱説明書を参照してください。充電電池を使用すると、補聴器から出る音の大きさが乾電池を使用する場合に比べて少し小さくなります。

電池寿命 / 適応難聴

電池寿命：約 115 時間(乾電池 LR03)
約 70 時間(充電電池 HR03)
適応難聴：中等度・高度
伝音・感音・混合性
* 電池寿命は使用条件によって変わります。

輸送や保管に関する環境条件

温度：-10~50℃
湿度：10~90%(結露のないこと)
直射日光が当たる場所を避け、保管すること。

電撃保護

内部電源機器

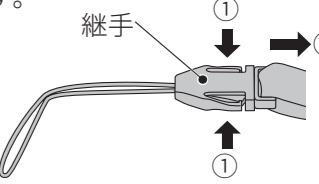


補聴器おぼえがき

購入年月日
購入店名
電話
担当者
ポリウム：
M/T切替スイッチ
ポリウムロック：

ネックストラップの取り付け

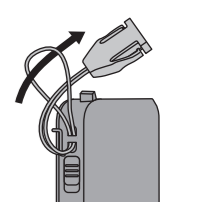
- 1.ネックストラップを3つの部分に分解します。下図のように、継手の①を押しながら、②を引っ張り、継手を外します。ストラップの両側にある継手を、2つとも外し、ネックストラップを3つの部分に分解します。



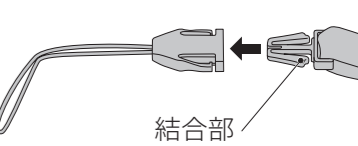
- 2.補聴器のストラップ穴(左右各2か所)に、継手のヒモを通します。右図のように、継手のヒモを、補聴器の側面にあるストラップ穴に、下から入れます。



- 3.継手のヒモを補聴器本体に取り付けます。右図のように、リング状になっているヒモの中に、継手をくぐらせて、矢印の方向に引っ張り、ストラップ穴にしっかりと取り付けます。



- 4.ネックストラップを組み立てます。下図のように、継手に、ネックストラップの結合部を、矢印の方向に押し、しっかりと取り付けます。



- 5.ネックストラップは、中間部のスライダーを使って、適切な長さに調整して使用します。

調整・修理・点検の記録

日付	内容

お願い

万一、修理が必要になりましたら、お買い求めのお店に修理を依頼してください。ご自分では絶対に修理しないでください。使い方、お手入れ、その他に関してご不明な点がありましたら、お買い求めのお店にご相談ください。故障がなくても、年に1度はお買い求めのお店で点検・調整してもらいましょう。